

Via Latina 22



総本部よりのお知らせ - マリア会 インド従属地区で終生誓願式

2016年2月
248号



1月3日、インド従属地区の修道士3名がランチャーのマリア会修練院で終生誓願を宣立しました。Santosh Savarimuthu, Pratap Guria そしてJulius Tete の3士です。誓願式はアメリカ管区の管区長Martin Solma師の司式によって執り行われ、インド従属地区長のAugustus Surin士が彼らの誓願を受理しました。

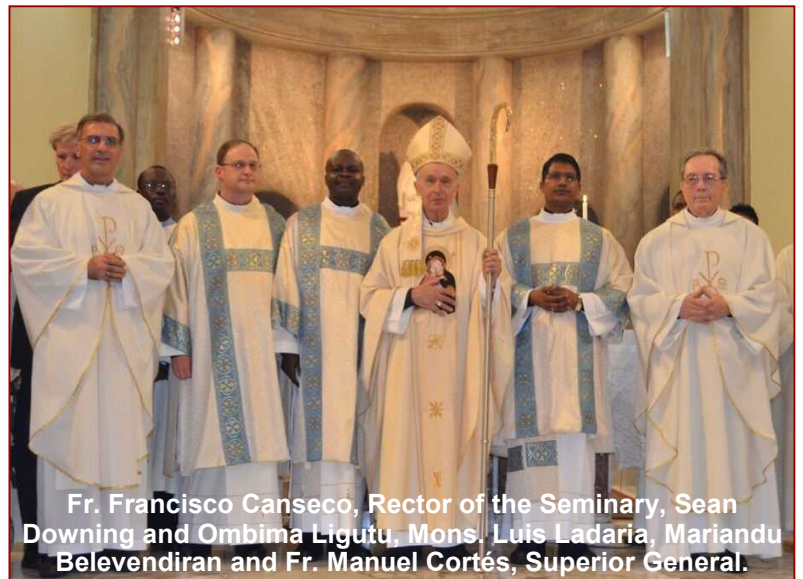
新たな終生誓願者の皆さん、おめでとう！

Bros. Pratap Guria, Julius Tete and Santosh Savarimuthu surrounded by Marianist Religious.

ローマで助祭叙階式

1月9日、インドのMariandu Belevendiran Anthonysamy, アメリカのSean Richard Downing, ケニアのBernard Ombima Lugutuの3士の助祭叙階式が、教理省の長官Luis Ladaria (SJ) 大司教によって執り行われました。説教の中でLuis Ladaria大司教は、神は常に豊かなお恵みをお与えになると強調されました。私たちがこれらの恵みを受けることができる特別な場は秘跡という場であり、今回の場合は、叙階の秘跡ということになります。

教会は、司祭叙階において神秘の頭であるキリストに形づくられることに先立って、助祭叙階において僕であるキリストに形づくられるよう、叙階の秘跡を整えてきました。支配ではなくこの奉仕の側面は、キリストご自身の中に存在したように、常に存在しなければなりません。この意味で、助祭職は決して無くなることはありません。むしろ、司祭叙階の中に更なるいのちと深さを獲得します。私たちにとって僕であるキリストの目に見えるしるしであるこれら兄弟たちのことを父である神に感謝しましょう。



Fr. Francisco Canseco, Rector of the Seminary, Sean Downing and Ombima Lugutu, Mons. Luis Ladaria, Mariandu Belevendiran and Fr. Manuel Cortés, Superior General.

いつくしみの聖年：“マリアニストに関わる”二つの聖扉が開かれる

このいつくしみの聖年に、全教会は、神のいつくしみ深い愛を受けるように、また、行動を通してその愛を証しするために熱意を強めるよう呼びかけられています。教皇フランシスコの要請に基づき、この呼びかけに貢献するために、ローマの4つの主要大聖堂と世界の全教区で、「聖なる扉」が開かれました。これら聖なる扉を通り抜けることで頂点に達する巡礼は、神のいつくしみを受けそれを分かち合うことが回心への道であること、を示しています。これら聖なる扉の中の二つは、すべてのマリアニストに対して、今年の私たちの生活のための活気にあふれたメッセージを伝えています。



“ローマのサンタ・マリア・マッジョーレ大聖堂の聖なる扉”

教皇は1月1日、神の母マリアの祭日にこの扉を開きました。説教の中で、教皇は“いつくしみの母”であるマリアの“学び舎”でこの聖年を生きるよう私たちに呼びかけました。

“この敷居を通る人は誰であれ、全信頼を持って何の心配もなく御父のいつくしみの愛の中に身を委ねるよう呼ばれています：聖母マリアが何時も傍にいてくださると本当に知っているのです、この人々は委ねることができるのです。彼女はいつくしみの母です。なぜなら、彼女は神のいつくしみの顔そのものであるインマヌエル、イエスを胎内に宿されたからです。十字架の下で、マリアは、「神が愛するように愛する」ということが何を意味するかを私たちに示しながら、御子をご自分を完全に捧げるのをご覧になります。イエスの模範に従い、またその恵みによって、彼女ご自身、罪のない御子を死に至らしめた人々をお許しになることでしょうか。私たちにあって、マリアは、ゆるしを探し求める人々に対して教会はそれをどのように与えなければならぬか、ということの象徴です。ゴルゴタの丘で与えられたゆるしには限界がないことを、ゆるしの母は教会に教えています。



Opening of the Holy Door of the Basilica Saint Mary Major, Rome.

(Cf. <http://w2.vatican.va/content/vatican/en.html>)

“ボルドー大司教区にて：ラムルース庵の聖なる扉



Holy Door of the Chapel of the Hermitage Lamourous (Le Pian, France)

ボルドー大司教区では、1月2日、ピアンにあるラムルース庵のチャペルで1つの聖なる扉が開けられました。ボルドー大司教はこのチャペルについて、“ボルドーのミゼリコルダ会の創設者マリー・テレーズ・シャルロット・ド・ラムルースの記憶が保たれているピアン・メドックのラムルース庵”であるとして言及しました。ここが選ばれたのは、彼女の人柄とそのメッセージに対する明白な推薦状があったからです。私たち皆が知っているように、彼女はフランス革命の終わり頃の数年間、この地で生活しましたし、福者シャミナード師は彼女に会いにここに来ました。今日、彼女の遺体は巡礼者たちが聖なる扉を通して入るチャペルに眠っています。このこと

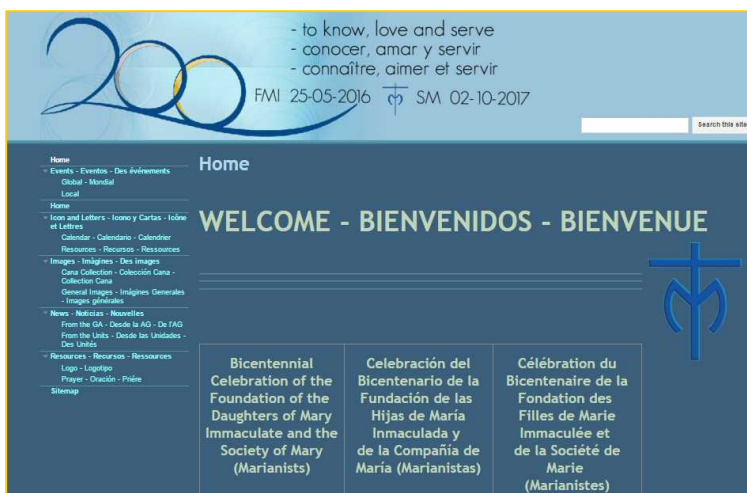
は、私たちが彼女のメッセージを知り、彼女の模範から霊示を受ける機会です。彼女は、“女性たちへのいつくしみと優しさに熱中して”、自分の全生涯を最も無視された女性たちの福祉のため、また神とマリアの愛のために捧げました(1803)。今年、尊者マリー・テレーズの列福への取り組みが前進するよう希望しましょう。

創立200年祭の準備

私たちは、200年間この祝いの機会を待ってきました。そして、その日は目前に迫っています！2016年5月25日、汚れなきマリア修道会とマリア会の創立200周年の公式の祝典が始まります。1816年に汚れなきマリア修道会が生まれたフランスのアジャンとその地域で行われるこの記念祝典開始の計画はすでに始まっています。様々な具体的なことを調整する必要があるため、実際には、この開始の祝典はアジャンとランケレオン城における行事をもって5月13日～15日から始まることになります。



私たちは、すべての行政単位と共同体が5月25日近辺の最も都合の良い時に、フランスのSM・FMI会員たちと霊的に一致して、自分たち独自の行事を計画するようお願いいたします。皆さんがマリアニスト・カリスマに従って、修道生活に対する熱意と感謝、および新たにした誓約をもってこの18カ月の祝典を活用されるよう希望します。



これら祝典の助けとなるので、皆さんはVia Latina 22の“200周年”のスペースを参考にしてください。祝典の期間、皆さんはここで必要な情報、記事、示唆などを入手出来ます。私たちはここ総本部で知った情報や、時には、マリアニスト修道者としての自分たちの召命に関する考察を分かち合うつもりです。マリアニスト家族のwebsiteの新規のページが既に立ち上っており、豊富な情報を入手できます。更に出来るだけ情報を増していきますので、ニュース、情報、写真など、どんな言語でもOKです。私たちに送ってください。時間があるとき、私たちのサイトwww.marianist.orgを見るようお願いいたします。(このリンクをクリックして言語を選んでください。それから“Bicentennial200周年”をクリックしてください)

このwebsiteの基本内容：

- * 両総長からの**回章**：この式典のテーマと目的を述べている
- * 公式**ロゴ**：説明付きで色々な形式にてダウンロードできる
- * **200年祭の祈り**：配布のためにダウンロード可能ないろいろな形式が利用できます
- * **アイコン（聖画）と創設者の書簡の巡礼**についての情報：このアイコンが世界を巡る日付だけではなく、この書簡の全文、翻訳、この聖画像の種々の版（バージョン）もここでみる事ができますし、また、このアイコンが自分たちの地域にいつ到着し、どのようにこれを活用するかということについて知っておかなければならないことを知ることが出来ます。時間の経過と共に、私たちは皆さんのところで行われる祝典に有益と思われる他の資料を加える考えです。
- * **聖画像集**は検索とダウンロードのために纏められており、2つのセクションがあります：
 - ① マリアニストに関連した一般的な画像を提供しています。
 - ② カナの婚礼を描写している特別な“カナ・コレクション”で、大部分がマリアニストによって描かれたオリジナルな作品です。これら画像は様々なスタイルで作られています。これらもまた同様にダウンロードでき、ご希望なら、出版物に利用できる許可をいただいています。
- * 最後に、祝典の進行に伴って、私たちは皆さんから送られた情報、写真、資料等を分かち合いたいと思います。皆さんが出来る事は何でも結構ですのでそれを私たちに送ってください。これは私たち全ての人“のため”、また、全ての人“による”式典なのです。情報の送付先はwebsiteに示されています。

この式典の私たちのモットーである“**知り、愛し、仕える**”という3つの動詞は、どれも考察と行動の両方の意味を含蓄しています。マリアニストとして、私たちは観想と活動を通して私たちの召命を生きています。この祝典が祈りの生活と宣教活動の両方を私たちの中に浸透させますように！

マリアニストJPIC WEBSITEを訪ねたことがありますか？

移民と難民に関する共同体で話し合い: 皆さんはJPIC websiteを訪ねたことがありますか？

移民と難民の問題に関する皆さんの共同体での話し合いのための資料、リンク、豊富な情報が私たちのwebsiteで利用できます。
www.marianist.org をクリックしてください。

皆さんがこの話題に関するフィードバックを送ってくださるよう期待しています。Websiteを訪れて、どうすればいいかをみてください。



2016年の“40日”キャンペーン

今年も、スペインのマリアニストは40日のいつくしみの体験に焦点をあてた四旬節のキャンペーンを計画しました。キャンペーンは“最貧40カ国と過ごす40日間”と名付けられ、スペイン語ですが様々な方法でそれを活用出来ます。このキャンペーンは種々のマリアニスト信徒、修道者グループ

の共同作業の成果であり、四旬節の40日間のそれぞれの日の異なるいつくしみの体験に注目させます。これは良く出来ており、スペイン語が解る人々にこれを進めたいと思います。特に学校のクラスや若者のグループが使うのに良いかも知れません。



40 LUGARES DE MISERICORDIA

CUARESMA 2016

“40日”へのアクセス方法:

- GOOGLE PLAY: <http://bit.ly/1ZNV5DF>
- WEBSITE: www.40ultimos.org
- DOWNLOAD PDF: <http://bit.ly/239RLSt>

マリアニスト資料のCD

ボルドーのマドレーヌにあるマリアニスト養成センターがマリアニスト創立者たちの著書や彼らの生涯とカリスマに関する数多くの重要な研究が含まれる包括的なCD-Romを制作、発行しました。CDには歴史、霊的生活、マリア、ミッション、教育、統治と組織などの項目が含まれています。

この非常に有益で包括的な資料は、これ自身、カギとなるマリアニスト文書についてのフランス語によるかなり大きな撰集となっています。

このCDはフランス管区で注文出来ます。

Robert Charlot, s.m.: secretariat@marianistes.com



初めてのシャミナード師行列



Fr. Angel Iñiguez, Fr. Ignacio Sánchez, Bro. Miguel Dieste, President of the Confraternity, Fr. Herminio Martínez and Fr. Antonio Pacheco.

プをもって、この行列によって作り出されるダイナミズムが妥当であることを宣伝しました。正午に、シャミナード神父(そのご像)は、この式典のためにいくつかの学校の中から彼によって選ばれたヘレスのこの学校を、上から見下ろしました。コレヒオの小教区はこの特別な行事のために選んで頂いたお恵みに対してシャミナード神父に感謝致します。

ヘレス・デ・ラ・フロンテーラのマリアニスト共同体(ピラールの小教区、およびコレヒオ・ヌエストロ・デル・ピラール高校)から報告します: 普遍教会の歴史上初めて、美しいヘレスの町が私たちの創立者であるシャミナード師をたたえる行列を行いました。1月21日木曜日、シャミナード師の記念日の前夜、ピラール高校の聖堂は記念ミサに出席した高校の全生徒で一杯になっていました。

祝典は、高校の校長であるMiguel Angel Dieste士から紹介された後、多くの友人、知人たちを前にして“家庭の精神”について語ったJuan De Isasa師の講話から始まりました。

非常にマリアニスト的なSanta Vera Cruzの信心会は、そのダイナミックなリーダーシップ

メールアドレス変更

- **Bro. Eugene Frank (US):**
eugenefrank.3@gmail.com
- **Fr. Patrick Tonry (US):**
pjtonry222@gmail.com

総本部日程

- **2月17日～3月9日:** 総長評議員会全員マリア会トーゴ地区訪問

総本部 最近の通信

- **1月8日:** JPIC構想の書状が総本部財務局長Michael McAward士から全行政単位の教育部長と財務部長に英語、仏語にて送付されました。
- **1月11日:** JPIC構想の書状が総本部財務局長Michael McAward士から全行政単位の教育部長と財務部長にスペイン語にて送付されました。
- **1月20日:** 私たちの使徒的事業のマリアニストアイデンティティの確認—第2版が総本部教育局長Maximin Magnan士から全ての行政単位の責任者と教育部長に3ヶ国語で送付されました。

